

令和4年度第2回PDCA部会専門部会 議事録

日時：令和4年10月27日（木）18:00～18:40

開催形式：オンライン（WebEX）

参加施設：愛媛県立中央病院、愛媛大学医学部附属病院、市立宇和島病院、
住友別子病院、松山赤十字病院、松山市民病院、四国中央病院、
HITO病院、済生会松山病院、市立八幡浜総合病院、
愛媛県健康増進課、四国がんセンター

- 資料（発表スライド）：
- ① 平成30年度患者体験調査
 - ・患者体験調査ホームページレイアウト案
 - ② 東班「QI」研究
 - ・四国がんセンターの取組み
 - ・愛媛県がん情報データベースについて
 - ③ 専門部会活動のアンケート調査
 - ④ 相互訪問監査／WEB監査
 - ⑤ 第11回がん診療体制の質に関する調査

議事：

1. 開会挨拶（四国がんセンター 青儀）

本日はお忙しい中ご参集頂きありがとうございます。県内のPDCA活動は大変重要な活動です。基本的なコンセプトとして、医療の改善につながるような活動を、皆様と一緒に実施していきたいので宜しくお願いいたします。皆様からご意見等頂きながら、本会をブラッシュアップしていきたいと思っております。

2. 患者体験調査について（四国がんセンター 寺本）

患者体験調査は、

- ・厚生労働省・国がん・患者会がデータの意義を抽出して示している。
- ・症例抽出・集計・考察を厚生労働省・国がんが中心になっておこなうので高い精度が期待できる。
- ・3～4年おきに行われることが期待できる。

等の意義があり、愛媛県のPDCA活動として活用している。

第3期愛媛県がん対策推進計画中間報告にも患者体験調査の結果が用いられており、その中でも重要性の高いと思われるものを3点取り上げる。

- 1 セカンドオピニオン（周知が不足している）
- 2 就労の継続（就労継続の割合が低く、情報提供が不十分）
- 3 治療前の AYA 世代患者さんへの生殖機能保持に関する情報提供

愛媛県がん診療連携協議会ホームページの PDCA 部会のページおよび、がんサポートサイトえひめ内の新たなページに「患者体験調査に基づく愛媛県のがん診療の PDCA 活動」として、一般の方にもわかることばで説明した PDCA 部会の活動について、掲載の準備をしている。各施設において追加作業のお願いがあるため、ご協力をお願いします。

3. QI 研究について（四国がんセンター 寺本）

2018 年症例について 2020 年の未実施項目の登録締切は 10 月末。

PDCA 部会の指標として承認された 5 項目について、愛媛県の集計結果が報告された。

- ・ c32_大腸癌への術後化学療法
愛媛県においては約 90%が実施されていた。
- ・ st3_切除不能IV期胃がんへの化学療法前 HER2 検査
愛媛県においては 90%以上が実施された。

→上記 2 項目については、改善の余地がない指標と思われる。このことは、愛媛県がん診療連携協議会ホームページへの掲載のため、原稿を作成している。

- ・ QI-100_嘔吐高リスクの抗がん剤へ制吐剤
- ・ QI-200_外来麻薬開始時の緩下剤処方
- ・ st13_化学療法前の血液検査

→上記 3 項目については、改善の余地あり。

四国がんセンターの取り組みとして、改善の余地ありの 3 項目について検討した。QI-100_「嘔吐高リスクの抗がん剤へ制吐剤」について、院内のprotocols変更を検討中。

愛媛県がん情報データベース計画が来週中にも承認予定。QI 研究は推進病院からも参加が可能であり、また、アプリでデータを提出するような比較的簡単なシステムとなっているので、是非参加をお願いしたい。

4. 専門部会活動のアンケート調査について（四国がんセンター 寺本）

定義：専門部会の活動について外部（部会外）にアンケートを行い、専門部会の活動の認知・効果・評価を知る。

第1回目としてがん登録専門部会についてのアンケートを、一般協議会職員・幹事・PDCA部会員を対象に実施した。アンケートにご協力頂いた皆様にはありがとうございました。いろいろな職種、また、部会員以外の皆様からの回答を得られて大変良かった。

- ・いろいろなデータの公表をしていることは知っているが中身は知らないという人が多い。
- ・精度の高いがん登録をおこない、利活用をしっかりとってほしい。
- ・年に数回、がん登録の実績や利活用を報告してほしい。
- ・ ・ ・ など。

どのようなことをしてほしいかという意見なども頂いたので、参考にさせていただきます。詳細な結果は報告会に向けて準備している。また、前例のない取り組みであるので、がん登録関係の学会等での発表も予定している。

引き続き、がん看護専門部会、緩和ケア専門部会のアンケートの実施を予定している。アンケート回答者にとって頻回にならないよう、一定の間隔をおいて実施できるよう配慮したい。

これ以外でもアンケートに良いテーマがあれば、提案をお願いします。

5. 相互訪問調査／WEB 監査について（四国がんセンター 青儀）

病院のがん診療の質を改善していく取り組みには、

1. がん診療評価指標（Quality Indicator）
2. がん診療体制の質に関する調査
3. がん相談支援のPDCAサイクル確保の取り組み
4. 緩和ケアチームセルフチェックプログラム
5. 相互評価（ピアレビュー）

などがある。その中で、相互評価（ピアレビュー）は、PDCAサイクルに最も効果的ではないかといわれている方法である。愛媛県がん診療連携協議会において、相互訪問調査は5～6年前に実施しているが、今回はより負担が少ない方法で実施したいと考えており、国立がん研究センターで完成しているZOOMによるハ

イブリッドでのピアレビューのメソッドを参考に、Web による施設間ピアレビューを計画している。完全リモートでは手順の問題など難しいので、ハイブリッドの形で1時間半～2時間程度で実施可能な内容の調査を、できれば今年度中に開始できるよう検討をすすめたい。調査の内容についてもなるべく負担のない形として、まずはパイロット的に緩和領域だけの体制についての調査を実施してみるなどについても、検討中である。

準備が整いましたら、レビューア、オブザーバーなどの役割も含めて、ご協力をお願いします。

6. その他

毎年末に行っている東京大学の質評価指標調査「がん診療体制の質に関する調査（地域調査）」の参加について、今年度もご協力をお願いします。PCAPS事務局では第10回（2021年12月調査）の調査終了後、質問票の見直しについて取組まれている。来年の秋にはよりシンプルで回答のしやすい新しい調査票が提供されると思われる。

評価については、従来よりトップマネジャーに病院の出来栄えファイルとして評価用のファイルが送られ評価を依頼しているが、各診療科の現場医師に向けて、ミドルマネジャー、スタッフ用の簡単なミニ調査票も開発されている。診療科におけるミドルマネジャーの先生方の意識や認識がわかるような、簡易なものであるため、参加頂けるとよい。

年度末の報告会に向けて、各施設で実施したPDCA活動の紹介をお願いします。がんに特化した活動内容に限らず、例えば経営などでもよい。

《質問等特になし》

7. 閉会挨拶（四国がんセンター 藤山）

本日の部会は1時間程度を予定していましたが、40分で終了となりました。PDCA部会としてのいくつかの検討結果の報告やお願いや提案をさせて頂いております。今後各専門部会で、またはPDCA部会の活動として、ご協力ご検討頂けましたら幸いです。皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。

以上